



「プロフェッショナル人材事業」による 地方創生について

アクティベイト株式会社
代表取締役社長

海老 一宏氏



岩手県プロフェッショナル人材戦略拠点
マネージャー

齊藤 博之氏



アクティベイト株式会社 代表取締役社長 海老 一宏氏



■ 経歴

- ・1957年、宮城県仙台市生まれ。
- ・中央大学卒業後、東証一部上場企業の品川白煉瓦株式会社（現品川リフラクトリーズ株式会社）に入社。人事、経理、営業に携わる。
- ・2000年、エグゼクティブ系を得意とする人材紹介会社へ入社。トップエージェントとして活躍。
- ・2005年、アクティベイト株式会社を設立、代表取締役社長に就任。これまでにエグゼクティブクラスをはじめ、6000名以上の面談と200社以上への紹介実績がある。転職サイト「エン転職コンサルタント」の利用者評価6年連続トップ（当社調べ）

著書

『40歳からのサバイバル転職成功術 一決まる人決まらない人の差はココにある！』（ワニブックスPLUS）
『一流と言われる3%のビジネスマンがやっている誰でもできる50のこと』（明日香出版社）
『会社「に残れる人」と「捨てられる人」の習慣』（2016年10月明日香出版社）

アクティベイト株式会社 会社概要

設 立	2005年1月	事業内容	人材紹介事業、個人の転職支援事業、企業向け研修
資 本 金	2700万円	所 在 地	〒105-0012 東京都港区芝大門2丁目3番6号 大門アーバンist4F
代 表 者	海老 一宏	TEL/FAX	03-6450-1364/03-6450-1374
従 業 員	12名	ホームページ	http://www.activate.co.jp



■ 経歴

- ・岩手県出身。
- ・昭和52年県庁入庁、当時の岩手県農業試験場に配属。その後、統合された岩手県工業技術センターに長らく勤務。
- ・平成13年、14年と「いわて産業振興センター」新産業推進課参事兼課長として勤務。
- ・県庁在職中の平成9年に酒造用米で農学博士号を取得。
- ・岩手県工業技術センター副理事長を最後に退職。
- ・放射線関係の(株)サイエンススタッフ技術顧問、北日本銀行営業統括部顧問、農林水産省産学官連携事業CD等兼任。

岩手県プロフェッショナル人材戦略拠点 事業の説明

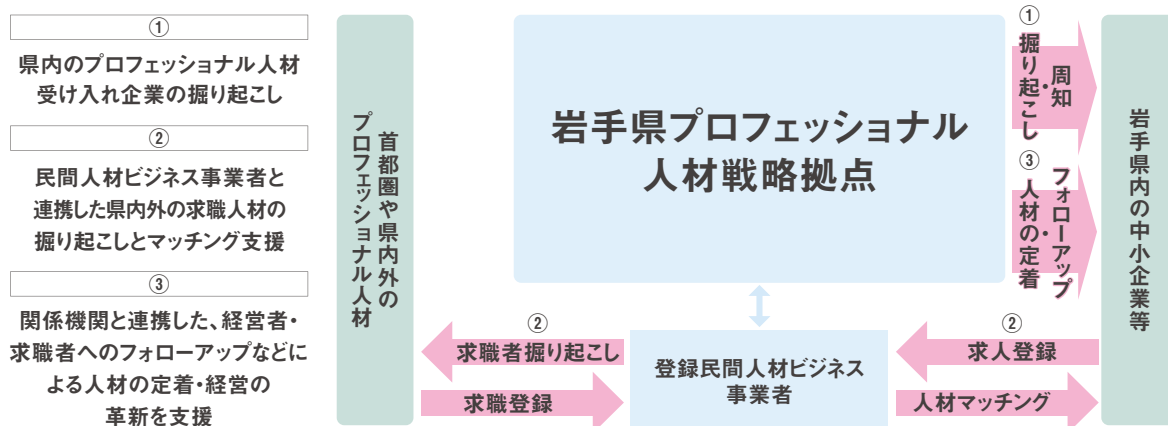
1. 事業概要

内閣府では、大都市圏を中心に多く存在する事業企画・運営などの経験豊富なプロフェッショナル人材(※)が、地方では不足しているという状況を解消し、中小企業等の活性化を図るため、県内中小企業等の成長戦略に必要なプロフェッショナル人材の確保をコーディネートするための窓口となる拠点を全道府県に設置しました。

岩手県では、いわて産業振興センター内に拠点窓口を設置しています。

※確保の難しい職種のベテラン人材、経理のプロ人材、設計部門の長を任せられる人材、初の海外輸出を担当できる人材、新分野進出を担う人材などの実務経験者を想定しています。

2. 事業内容



3. 問合わせ 岩手県プロフェッショナル人材戦略拠点(いわて産業振興センター内) TEL 019-631-3828 / FAX 019-631-3830

人材紹介というものを 経済観念だけでは考えない

齊藤 私が海老社長にお話しをお願いしようと思ったのは、社長のやり方がすごくウエットを感じている点です。今までいろいろな人材紹介会社さんとおつきあいしていて、マネージャーさんとお話しすると、若いマネージャーさんが結構多い。その一方で、海老社長のようなベテランの方もいて。岩手への対応がドライとウエットって両極端に感じていて。本当はドライに考えれば収益性を考えて岩手には紹介しにくい。それは、ビジネスで言えば当然ですが、だけど海老社長はウエットな方で、人材紹介と

いうものを経済観念だけでは考えないというのをすごく感じるんです。一方、転職を考えている人たちにもその考え方や精神を強く伝えている。そういう点が他の紹介会社と一線を画しています。

制度を利用し人材受入れ 全体のレベルを上げる

齊藤 既に全国では200人ぐらいのプロ人材雇用成立が決まっています。そういう中で、岩手を含む北東北の各県は人材紹介が難しいと思います。そのようななかで今回の内閣府のプロフェッショナル人材事業が有効であると感じていることがあれば教えてください。

海老 私はこの内閣府のプロ人材事業

が始まる前から、似たような取り組みをしていたんです。なぜそれに取り組んだかという、日本がこれから生き残っていくために、中小企業はほとんど地方にある訳ですから、その中小企業が進出してくるのを支えてきた製造業の拠点が中国や東南アジアにシフトしていき、俗にいう空洞化が起こってきて、中小企業がじわじわと苦しくなってきたんですね。それに対して、どうすればいいんだというのが日本全体の問題でした。今までと違ったものを作り出していかないと今までの

下請けモデルは早晚成り立たないわけでは。そこを解決する方法として私は昔から人材に着目している訳です。けれども、ご存知の通り首都圏以外の企業は、人材ビジネスを有効活用していないばかりではなく、よく知らない場合が多いです。一方で、地方の中小企業の中でも活用しているところがあります。そういうところはちゃんと人を採用して、成長しているんです。この事実を地方の中小企業さんはあまりご存じない。**齊藤** そうだと思います。私は実は農業の世界から工業の世界へ入ってきたんですが、一番の違いは、工業の世界は自分の会社のことは分かっても隣の会社のことはよく知らない。失敗例はよく聞いているんですけど、たとえば大手の企業から人材を引っ張ってきて失敗したという話はよく知っているんですけど、うまくいった例を意外と知らない。ほかのことを知らないものだから、有料の人材紹介がどのような効果をもたらしてくれるかを知らない企業が多い。岩手県の人口は2040年に7割になる危機が身近に來ています。できれば欲しいなという気持ちぐらいでいて、「ここ10年先本当に大丈夫?」って言いたいし言うんですけど(笑)

海老 それは厳しいかもしれないですね。

齊藤 外部の人材を入れるということは有効だと思っています。全然違う考え方が入ってこないと会社が変わっていかない、外部の人材って全く新たな発想で来る。違う風土で育った人が入ってくるとするのはすごく重要だと思って

いるんですけど、会社の側からすれば変革にはづらい部分もあるし、果たして大企業に限らず他で勤めていた人がうちでやれるかなど不安だらけになってしまう。

海老 外部の優秀な人材が当社に来て、本当にうまく定年まで働いてくれるのか、それはたとえば首都圏の大企業でもそれは同じです。そのリスクは必ずあります。たとえば地元の高校生の新卒を採用したって、辞めていっているわけですね。ですから、その人が定着するためには、社長をはじめ企業の受け入れ側のレベルアップも当然必要です。今回のプロ人材に関しても、人材紹介ビジネスを知っていただいて活用するということは、いい人材を受け入れてその人材に期待するということもあるし、もうひとつは企業の体質の変換が必要です。今まで地元の人材を採用していたレベルから、もっと大企業の人材を受け入れるとすると福利厚生から体制・考え方で、もっとレベルをあげていく。今回の制度を活用して、そこも変えていくということですね。

社長が先頭に立っている ということが重要

齊藤 人材を紹介してうまくいく会社はどんな風な会社でしょうか。

海老 厳しい言い方をすれば、社長の目線が高い会社です。結局、社長が会社をどう動かしていくかで、危機感を持っている社長と未来を持っている社長と2種類の社長がいると思います。私は、そのふたつどちらかがないと、やっぱり人材を受け入れた時の変化になかなか繋がっていかない。要するに、自分の気持ちやスタイルを変えずに、合わせろということになってしまいますから。そうではなくて、今の危機感をどうやって乗り越えていくか、あるいは今うちが持っていないところまでいくた



めにはどうしたらいいか、その答えを持っている可能性がある人材を受け入れるということになりますから。そうすると、そういう企業は変化していくことですよ。ですから変化せずに人を受け入れている会社、あるいは強烈な目標意識や危機意識がない会社は企業を大きく成長させる人材を採用できないし、仮に採用してもうまくいかないでしょうね。

齊藤 社長が先頭に立っているということが重要なのだとも思います。会社がそういう雰囲気になっているということではなく、社長さんの危機意識や将来への決意がしっかりしていなければ、人材紹介もうまくいかないことが多いと思います。岩手県の企業に感じていること、もしくは言いたいことがありましたらお願いします。

海老 優秀な人材を採用するためにどうしたらいいか、社長として企業として何が必要なのかというところは明確にあります。あとはそこに社長の意思が必要です。社長の決断、判断、スピード、そういうものをぜひ発揮していただきたいと思います。社長の仕事っていくつか大事な仕事がありますが、ひとつは人材を採用することです。採用して育てて定着させて活躍させるということが社長の大事な仕事ですから。そのために、今回は特に内閣府があり岩手県がある。これはもういい人材がいたら絶対逃さないぞというような気持ちで是非動いてもらいたいと思いますね。

齊藤 ありがとうございます。



お知らせ

今回お話を伺った(株)アクティバイトの海老社長を講師と迎え、人材活用をテーマとしたセミナーを下記のとおり開催予定です。ぜひご参加ください。

日 時 平成28年11月11日(金)9時30分から **会 場** 岩手県工業技術センター 大ホール(〒020-0857 岩手県盛岡市 北飯岡2-4-25)

参加料 無 料

申込方法 当センターホームページから参加申込書をダウンロードしてご使用ください。

※セミナー当日は同じ会場で13時15分から「岩手県よろず支援拠点」のセミナーも開催します。併せてご参加をご検討ください。詳細はホームページをご確認ください。